

< 復興支援特別セミナーのご案内 >

福島沿岸部農業復興の課題と未来像 ～被災地の営農再開にみえる日本農業の未来とは？～

東日本大震災発生から7年半経過しましたが、福島県沿岸部においては、原発事故の影響等により、農業の再開が遅れています。

東京農業大学では「東日本復興支援プロジェクト」として福島県相馬市をはじめ被災された地域での営農再開に向けた調査研究活動を通じた支援を進めてきました。

本事業は、福島県浪江町と東京農業大学、(株)舞台ファームが「営農再開・担い手育成のコンソーシアム」を形成し、農の振興を基軸とした活動に取り組んでいます。

そこで、復興支援特別セミナーを、浪江町の農業現場で活動されている(株)舞台ファームの伊藤啓一氏をお招きし、以下の内容で実施いたします。

- 福島沿岸地域の現状と課題
- 福島県浪江町における営農再開活動の今
- 担い手不足＝今後の日本農業共通の課題



2018年10月6日
浪江町稲刈りイベントの様子

参加費は入りません。参加希望の方は、国際バイオビジネス学科 井形雅代 (masayo@nodai.ac.jp) 地域創成科学科 入江彰昭teruaki@nodai.ac.jp)までメールをお送りください。**当日参加も歓迎です！ 学部・大学院生、教職員の方、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。**

■日時：2018年11月19日（月）16：20～17：50
■場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 241教室
主催：東京農業大学総合研究所（所長 山本 裕司）

< 講師プロフィール >

- 講師：株式会社舞台ファーム 伊藤 啓一
- 役職：常務取締役 ■出身：宮城県出身
- 経歴：東北大学文学部卒
平成25年7月～舞台ファーム入社

21代続く農家の長男。三井住友系金融機関、およびプロ野球チーム楽天野球団に初年度から勤務後、日本最大の精米工場を持つ「舞台アグリイノベーション株式会社」の立上げにも寄与。2017年に南相馬市小高区にて地元農業者と連携し実績を残したのち、2018年より、福島県浪江町の営農再開プラン立案に参画している。

